



（人間様の為に『してきてあげる』なんて…
啖呵切ったはいいいけど……）

（普通に、やっぱり恥ずかしいな……）

はあ…



(…冷静に考えてさあ…)

(他人に自分の彼女抱かせるって……
やばいよなあ……?)

(人間様……ほんとも……)





(それにしても……)

まさか、ホテルがどこも空いてないとはな……)

(……仕方なく家にあげちゃったけど……
人間様怒んないかなあ……?)

(まあ、人間様のことだし…
説明したら分かってくれる…よな…)
(それに変態だし…
むしろ興奮しそう…?)



「サ〜」

（ていうかシャワー長いな〜…）

（普通はこれくらい浴びるもんなのか……？）

（なんか焦らされてる感覚でもやもやする……）



（人間様とする時は
ご丁寧にシャワーなんて浴びなかつたし…）
（そもそもこんな…）
形式的なえっちするの、初めてだからな…）



(……なんか、人間様以外の
男の人に初めて捧げるのって……)

(……うーん……なんていうんだろ……
背徳感……?……っていうのかな……)

ドキ
ドキ

(……それが、凄くて……ドキドキするな……)



(余も変態なのかもな…なんて…)



(ん…シャワーの音が消えた…)

(そろそろ、来るのか…)

「キミ」

(やばい心構え全然出来とらん…
集中集中…！)



「…お、正座で待ってるなんて関心関心」

「家も和風だしそういうタイプの子なんだ、好み」

「ど…どうも…」



(わゝ…筋肉すご…人間様とは大違いだ…)

(あのタオルの下にはもうちんちんあるんよな…?)
(どんなサイズなんだろ…?)

(直視するのなんか気が引けるな…
普通に恥ずかしいし…)



「ま、話す必要もないし……
さっさと始めよつか」

「あ……あの、撮影……」

「そっかそっか、忘れてた
えと……じゃあ……そこでいいか」



「ハメる時持ってたらめんどくせーし
定点で……と」

「よし、これでおっけ」

グズグズグズ



「あ、充電半分くらいしかねえ……
途中で電源切れたら……それまででいいか」

「……」

0.5

1×



「なにになに？テンション低くない？
どしたのお」

「いやあ…やつぱり…
寝取らせなんてえ…緊張しますよお…」

アハハ…

0.5

1×



「大丈夫だつてえ

気持ちいいことするだけだよ？」

「怖いことなんてないって…」

「そ、それが怖いっていうかあ…はは…」

0.5

1×



「そんなそっぽ向かないでさ
顔見て話そ♡」

「あはは…」

(…ノリ悪いなあ……
まーいいや、さっさとやることやって
俺用マンコに作り替えるか)

0.5

1×



（うあゝ…やっぱりグイグイくるう…）

（人間様と全然違う…ちよつと怖いかも…）

0.5

1×



「はーいあやめちゃんこっち向いてー」

「……?」





「わ...♡」

ブルン

0.5 1x

Red square button

「……♡」

「何見惚れてんのあやめちゃん?」

「彼氏のと全然違うんじゃない? どう?」

ギンギン

0.5 1x



「全然違う……」

「お、けっこー素直」

「これが今からあやめちゃんのマンコを
ほじくって掻きむしるちんぽだからね」

ゾクゾク

「よく形見て覚えてね」

0.5

1×



「楽しみで疼いて疼いて
仕方ないって感じだね〜？」

「……じゃ、さっそく1発…する前に…」

ゴウ…

0.5

1×



「カメラの向こうの彼氏くんに
一言なんか言つとこうか♡」

「!!」

0.5

1×



「あ…あの…人間様…」

「予想以上にでっかいのが出てきて……
余、正直驚いとる…」

「余のおまんこ……
……広がつちやうかもな……」

0.5

1×



「こ…このおちんぽで
たくさんいじめてもらおうから…」

「人間様もこの動画見て：
たくさんシコって、
気持ちよくなつてな…?」

ニヤ…

「ふふ…♡」

0.5

1×



「いいねえ、マゾ心抑えてるねえ♡」

「あてあて、前座はこんなもんにして…」

0.5

1×



「それじゃあ彼氏さん
あやめちゃんいただきますね〜♡」

0.5

1×





数時間後……



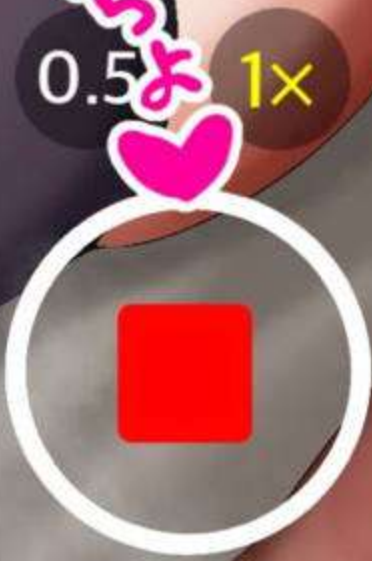


あゝ
おっ
あゝ
おっ
あゝ
おっ

あゝ
おっ
あゝ
おっ
あゝ
おっ

ぬいちゃう
ぬいちゃう
ぬいちゃう

ぬいちゃう
ぬいちゃう
ぬいちゃう
ぬいちゃう
ぬいちゃう
ぬいちゃう



「あゝ『あやめ』のマンコ…
やっぱめっちゃ気持ちいい♡」

「相性バツグンだな俺ら♡」

ちゅー♡♡♡
いー♡♡♡

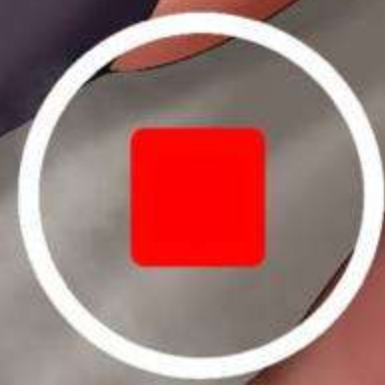
ぽん♡

おう…♡
おう…♡

おー♡

0.5

1x



「ほらほら、そんな汚い顔で
イツてばっかないで」

「彼氏になんか一言ないの？
俺らの相性についてとかさっ」

ずほ♡

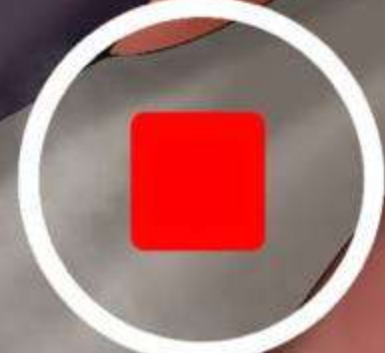
ずう♡
ずう♡

めづう♡

ぐいづう♡

0.5

1×



「あっあ…♡」

「人間様…♡」

「○○様とな…余なあ…」

「多分、めちやくちや相性いいぞ♡」

ぐちゃぐちゃ

ぬちゃぬちゃ

0.5

1x



「カリが…っ…余の弱いところ…っ…
しっかり搔いてくれるしい…♡」

「太くて長いから…♡
奥の…気持ちいいところ…当ててくれるし…♡」

0.5

1x



「何より腰使いが…っ♡」

「すっ…っごい上手くてなあ…っ♡
いじめてくる…っようなっ♡」

「ねちっこいピストンが…♡
凄いんだっ♡」

「本当につ…相性最高かも…っ♡」

0.5

1x



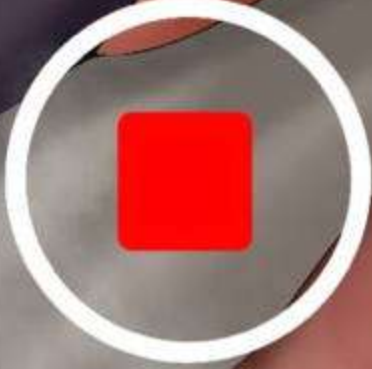


ずきゅん♡♡

「オラッ……!」

チュ♡ ドゥ

0.5 1x



「彼氏に気向かせてんじやねえよ♡」

「ひっ…酷くないかあっ♡」

「○○様がっ♡…言えってえ…♡」

「口答えすんなあやめ♡」

いっ♡

0.5

1×



「あゝっ♡…優越感やつべ…っ♡」

「彼氏より相性いいって言われるの…
…さいつこゝゝ…♡」

「そろそろ中出しすっからっ…
しっかり締めろよお…っ♡」

「んっ…♡はいっ…♡」

0.5

1×



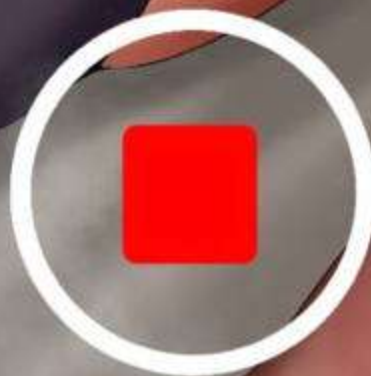


んぎゅんぎゅん...♡

んぎゅんぎゅん...♡

0.5

1x







「は〜…♡…さっしゅ…♡」

「へ…へ…♡…余も…
気持ちよかつたあ…♡」

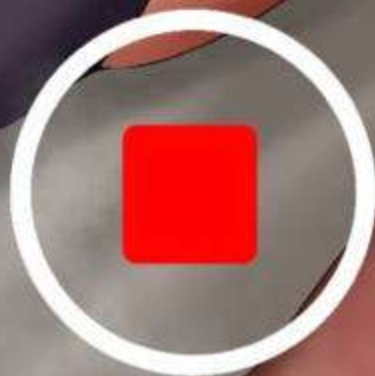
0.5

1x



0.5

1x



さらに数時間後……



「あーすんません彼氏さん…♡」

「充電切れてて…はは
録画止まっちゃいましたわあ…♡」

0.5

1x



「もうここまで動画見てくれたら
分かると思うんですけどお」

「途中までは…
ゴム使ってたんですけどね？」

「途中で無くなっちゃったんで…
ナマナカしてます♡」

0.5

1x



「でもこの通り：ね♡
あやめちゃんもご満悦なんでえ」
「許してもらえませんか♡」

0.5

1x



「…ごめんな〜人間様♡」

「ゴム無くなった時点で
終わらせるつもりだったんだけど…」

0.5

1x



「気持ち良すぎてやめられなくてな♡」
「ピル飲むから許してくれ♡」

0.5

1x



「ってことです…♡」

「だいたい俺のデカチンの
虜になっちゃったっぽくてえ…♡」

「……いつでも寝取らせりぴーと
待ってますよ♡」

0.5

1x



「それじゃそろそろ彼女さん、
お返しするんで……録画も切りますね？」

「あやめちゃん、なんかある？」

0.5

1x



「…人間様あゝ♡」

余…いつでも寝取らせ付き合ってやるからな♡」

「また寝取らせの話してくるの…
楽しみにしてるぞ…♡」

「…はい、ありがと♡
つーことで、録画も切りますね♡」

「また後で会いましょう♡」

0.5

1x



「…と…これでよし」

「通話してるわけじゃないのに
後で会いましょつてのも変な感覚だな〜……」

「なあ、○○様♡」

「ん…?」

「もっかい…♡」

「え〜? 彼氏待たせちゃうよお?」

「いーから! もっかい!」

「へへ…ドスケベエロ鬼が♡」

（あゝ♡…寝取らせって…最高♡）

（前回の寝取らせお嬢の報告パートに続く…）